

【旧ホリー株式会社 沿革】

- 昭和30年 6月 ■ 株式会社堀江プレス設立(資本金 100万円)。
昭和37年 7月 ■ ホリー株式会社に商号変更。
昭和39年 4月 ■ 鋼管足場の需要増加に伴い、ジョイント・ベースなどの建設用仮設材の製造販売を開始。
昭和46年 1月 ■ 建設用仮設材の製造・販売会社栃木ホリー工業株式会社(連結子会社)を設立。
昭和48年 6月 ■ 群馬工場を群馬県勢多郡新里村に新設。
昭和50年 4月 ■ 鉄筋コンクリート建物建築用の支保工「ホリービーム(水平支保梁)」の製造販売を開始。
昭和51年 3月 ■ 会社更生法適用の申立。
同年 9月 ■ 群馬工場は社団法人仮設工業会の認定工場となる。
昭和53年 1月 ■ 会社更生計画の認可決定。
同年 5月 ■ 本社を東京都中央区日本橋人形町に移転。
同年 9月 ■ 建設用仮設材の修理・整備を目的とする関連会社ホリー整備株式会社を設立。
昭和54年 5月 ■ 一般建設業の許可取得。
昭和58年 4月 ■ 壁面用大型型枠工法、「MU工法」を開発して、土木仮設部門に進出。
■ 建設用足場の架払しを目的とする子会社ホリー住機産業株式会社を設立。
昭和59年 1月 ■ 建設用仮設材のレンタル事業への進出のため白金リース(ホリーリース)株式会社を設
昭和61年 10月 ■ 会社更生手続終結決定。
昭和63年 4月 ■ ニュースラブ型枠システム工法に使用する「クイックサポート」の製造販売を開始。
平成元年 7月 ■ 建設用仮設材販売の海外進出を開始し、台湾に丸紅株式会社と合併会社を設立。
平成3年 5月 ■ 社団法人日本証券業協会(現 日本証券業協会)に株式を店頭売買銘柄として登録。
同年 7月 ■ 「ハーフPC板(ニューロ板)」を鹿島建設株式会社と共同開発。
同年 11月 ■ ドイツのペリ社と合併会社ペリホリーアジアフォームワーク PTE Ltd. をシンガポールに設
■ 建設用仮設機材の製造・販売会社西日本ホリー工業株式会社(連結子会社)を設立。
平成4年 6月 ■ システム支保工「SGXシリーズ」の製造販売を開始。
平成5年 10月 ■ 兼用段付クランプの製造販売を開始。
同年 11月 ■ 鉄骨部工事前用仮設機材(S造・SRC造対応型)「ラックシリーズ」の製造販売を開始。
平成6年 4月 ■ 支保工用のドロップナットの製造販売を開始。
同年 6月 ■ 旧ホリー株式会社に対し、ミサワホーム株式会社の支援が決定。
同年 12月 ■ 臨時株主総会で定款を変更し、建築用資材及び建設用資材の製造販売の事業を追加し
■ 建材事業への取り組みを開始。
平成7年 1月 ■ アルミ製多機能支保工「マルチプロップ・システム」の製造販売を開始。
平成8年 2月 ■ ミサワホーム販売建設株式会社の2店舗(町田店・川崎店)の営業譲受。
同年 3月 ■ 本社を東京都江東区冬木に移転。
同年 10月 ■ 株式会社ミサワホームアーバンの株式をミサワホーム株式会社より取得し、住宅事業部門
■ の強化を図る。
平成9年 10月 ■ 株式会社ミサワホームアーバンと合併し、旧ホリー株式会社が存続会社となる。
平成10年 1月 ■ 双葉軽金属株式会社の発行済株式の全てを取得し子会社化(ホリー静岡工場)し、住宅、
■ 建材の両事業部門の強化を図る。
同年 9月 ■ 株式会社キョーリツの発行済株式の全てを取得し子会社化(ホリー駒ヶ根工場)し、内部木
■ 製ドア、障子、襖等の建具の製造販売を開始。
平成11年 2月 ■ 住宅施工事業の専門子会社、ミサワアーバン建設株式会社を設立。
平成12年 4月 ■ ミサワホーム株式会社他 2社と個人 1名の合併で韓国の現地法人「MK工業」を設立し、当
■ 社クランプ類の製造輸入を開始。
同年 7月 ■ 扶桑住宅工業株式会社の発行済株式の全てを取得し子会社化(ホリー鳥取工場)し、住宅
■ 用防腐加工材、襖、化粧階段等の木質建具の製造販売を開始。
平成13年 1月 ■ 日本軽金属株式会社より創建株式会社の発行済株式 20%を取得し、木橋・遊具・デッキ等
■ の製造販売を開始。
同年 10月 ■ 旧ホリー株式会社が双葉軽金属株式会社・株式会社キョーリツ・扶桑住宅工業株式会
■ 社の3社を吸収合併。
平成14年 3月 ■ 株式交換によりミサワホーム株式会社の100%子会社となり、店頭登録を廃止。
同年 8月 ■ 本社を東京都杉並区高井戸東に移転。
平成15年 8月 ■ 本社を東京都杉並区浜田山に移転。
同年 11月 ■ 株式会社ミサワテクノより繊維事業を譲受。
平成16年 8月 ■ 静岡住宅販売建設株式会社へ建材事業の一部を営業譲渡。
同年 10月 ■ 株式会社ミサワテクノとの合併により清算。